

令和2年度

まちづくり推進部 雄物川地域局の方針書

| | |
|-----|-----------------|
| 局名 | まちづくり推進部 雄物川地域局 |
| 局長名 | 上法 満 |

1. 局の使命(ありたい姿)

地域の強みを発掘、育成し、地域に「元気」を創り出します。

2. 局の抱える課題(現状)

- ・少子高齢化に起因する地域づくりに関わる組織の弱体化、地域活動の担い手不足
- ・持続可能な市民サービスの向上を図るための確実かつ安全な公共施設の整備
- ・地域課題解決に積極的に関わりあおうとする職員の育成や気づきの機会創出

3. 今年度の『スローガン』

市民を笑顔に！ 地域を元気に！

4. 今年度の方針

- (1) 地域資源の活用と市民参画による地域づくりの推進
- (2) 公共施設の適正な維持管理による安全安心の確保と市民サービスの向上
- (3) 安心して暮らせる地域であり続けるために行動できる職員・職場の実現

5. 今年度の重点取組項目

| | | |
|-----|---------|--|
| (1) | 実現したい成果 | 地域資源の活用と市民参画による地域づくりの推進 |
| | 取組内容 | ・中央公園・木戸五郎兵衛村や河川公園の環境整備を行い、地域の元気を創出する事業を推進します。 ・地区交流センター、地区会議事業を柱とした地域づくり活動の推進、防災機能、避難所運営体制、共助組織の拠点機能の構築・充実を図ります。 ・地区担当職員による地域づくり活動補助金の制度周知と支援に努め、地域コミュニティ醸成に貢献します。 |
| (2) | 実現したい成果 | 公共施設の適正な維持管理による安全安心の確保と市民サービスの向上 |
| | 取組内容 | ・行政、防災、市民交流の拠点としての新庁舎建設とその周辺整備に向け、FM計画のローリング(変更)と具体的事業計画の策定、財源確保に向けた関係部署との協議を進めます。 ・防災行政無線の現状と解体に向けた今後の方向性等の説明、意見聴取を行います。 ・老朽化が進み、利用実績の低い公共施設については、地域の意向を踏まえ、FM計画の見直しに着手します。 |
| (3) | 実現したい成果 | 安心して暮らせる地域であり続けるために行動できる職員・職場の実現 |
| | 取組内容 | ・職員個々の業務・接遇スキルの向上に努め、市民に必要とされる、また親しまれる職場づくりを推進します。 ・職員個々が地域の強みや課題を把握し、市民に寄り添った施策の推進を図ります。 ・要支援者の把握に努め、関係機関と連携して市民の暮らしと安全安心を確保します。 |

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

(1)

- ・7月12日、中央公園を会場に開催を予定していた「おもフェス」、8月8日の商店街「ははは祭り」など賑わい創出イベントが中止になった。
- ・消防団関係の事業、大会が中止になる中、9月6日、「雄物川地域水害行動訓練」を福地地区において、地区住民、消防団員、日赤奉仕団雄物川分団など121名が参加し実施した。
- ・各地区交流センターの会議等に出向き、地域づくり活動補助金等(特に「町内会等活動補助金」)の制度について説明し、活用を促した。
- ・木戸五郎兵衛村の公衆トイレ改築に着手した。

(2)

- ・新庁舎建設について、外構工事を除きすべて完了した。
- ・防災行政無線の使用を中止し、今後順次解体していくことを住民に周知した。
- ・利用実績の低い老朽公共施設について、地区交流センター長など関係者と協議を行った。

(3)

- ・市民サービス課では毎月課内職員が講師となり、実務を中心とした研修会を行っている。
- ・地域課においては、人材マネジメント部会参加職員に講師を依頼し、研修(オフサイトミーティング)を開催している。
- ・各地区交流センターの会議に出向き、避難行動要支援者名簿支援事業について説明し、協力の要請を行っている。

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

(1)

- ・2月15日、16日開催予定の「かまくらin木戸五郎兵衛村」について、観光おもてなし課と連携のうえ開催の可否を決定し、観光客のおもてなしと地域の元気創出とを推進する。
- ・冬季に向け、地区交流センターとの連携により共助組織のサポートにあたる。

(2)

- ・新庁舎の供用開始に向けた準備と、行政・防災・市民交流の拠点としての機能充実を図る。
- ・利用実績の低い老朽公共施設のあり方について、引き続き関係部署と協議を行う。

(3)

- ・課主催の研修会・勉強会を継続し、職員個々のスキルの向上を図る。
- ・避難行動要支援者名簿支援事業への取り組みを推進する。

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

(1)

- ・「かまくらin木戸五郎兵衛村」については実行委員会の意向を考慮し、2月13日・14日に規模を縮小、広告せずに開催。民家苑のトイレ棟改築工事は予定通り11月に完了した。
- ・新型コロナウイルスによる活動の縮小・自粛は年度末まで続いた。そのような中、福地地区では水害行動訓練実施後、8会場81名参加のもとマイタイムライン研修会を開催した。また、館合地区では河川災害講座を開催し、25名の参加があった。このように地域の防災ニーズに応える活動を来年度以降、他の地区でも開催したい。
- ・地域づくり活動補助金を活用した事業も、コロナ禍の中では年度末まで低調となった。

(2)

- ・新庁舎については予定どおり工事を完了、11月2日に供用を開始し、市民の利便性向上、職場の環境改善に取り組んでいる。今後も課題を解決しながら市民のよりどころとなる地域局づくりを進める。
- ・防災行政無線については令和4年度に廃止となることを、全戸配布チラシでお知らせした。また、老朽化し危険性のある5か所のパンザマストを解体した。
- ・4児童館について改修工事を完了した。来年度、地縁団体認可をもって町内会に譲渡する。老人憩いの家は来年度解体工事を行う予定。

(3)

- ・職員個々のスキルの向上を図るため、市民サービス課では職員が交代で講師となり4回の実務学習会を開催し、その中で業務改善の提案もなされた。地域課は人材マネジメント部会参加職員を講師に招き2回の研修(オフサイトミーティング)を開催した。
- ・避難行動要支援者名簿支援事業では、252名の名簿を作成した。また、社会福祉協議会と連携し、福地地区の個別避難計画に取り掛かっている。